

# HEART to HEART



令和2年11月6日(金)発行

## ミニ学習発表会(3, 4年 ことばの時間)



10月20日(火)のことばの時間に、3, 4年生はミニ学習発表会に向けた練習を行いました。アナウンサーの小田島建夫先生をゲストティチャーとしてお迎えし、群読の仕方や、言葉の伝え方、発声に適した姿勢などを教えていただきました。

3年生は、国語の教科書で学習した「サーカスのライオン」の音読の様子を見ていただきました。せりふを覚えて発声することで顔が上がり、声が遠くに届けられること、物語の内容をよく理解し、内容に合うように読むスピードや声の大きさを変え、役になり切ることにについて教えていただきました。また、聞き手を意識した声の出し方も学ぶことができました。

4年生は、群読の練習をしている「雨ニモマケズ」の作者、宮沢賢治の生き方や、詩にこめられた作者の思いについてのお話を聞き、力強く思いをこめて発表したいと考えました。

群読をより力強く迫力のあるものにするために、「①姿勢 ②目線 ③アクセント」の3つの具体的なポイントを教えて頂きました。肩に力を入れず楽な姿勢で、目線を高くし、栃木なまりをなくすこと。4年生が一番苦戦していた、「栃木なまり」ですが、何度も練習を繰り返し、本番に向けてさらにレベルアップすることができました。

3, 4年生とも、本番では、練習の成果が十分発揮できたことと思います。



## きよきたふれあい楽習(6年ことばの時間)

6年生は、きよきたふれあい楽習で「伝え合う楽しさ」(ことばの時間)を行いました。

1回目の10月16日は、「サイコロトーク」でサイコロの出た目の話題について、グループでお題を3回変えて話をしました。「1億円あったらどうする?」や「今だから言える恥ずかしい話」など普段会話しない話題が出たことで、「6年間一緒だったけど、知らないことがあった」と気づくなど、友達の新たな一面を知ることができました。

2回目の10月23日は「以心伝心絵送りゲーム」をしました。自分が描いた絵をグループの友達に10文以内の言葉だけで正しく伝えられるかという活動です。言葉で正確に伝えるのは思った以上に難しく、全然違う絵になり笑いが起きたり、説明がうまく伝わって、同じ絵が完成し歓声が上がったりするなど楽しく活動することができました。振り返りでは、「言葉で正確に伝えるのは難しかった」「うまく伝えられたからうれしかった」「伝えようと意識しないで使っていると、もしかしたら普段の会話でも伝わらないかもしれない」などの記述がありました。

どちらの授業でも、会話科の大切な目標の一つである「相手意識をもつ」ということがしっかり意識でき、身を乗り出したり話す相手の目を見て聞こうとしたりする姿が見られました。

